

オリンピック先生


 た か お ち ほ
 高尾 千穂 先生

【スキー／フリースタイル】

- 生年月日 1984年2月20日
- 出身地 東京都練馬区
- 出身校 練馬区立石神井中学校－
明治学院東村山高等学校－
早稲田大学－早稲田大学大学院



プロフィール

20歳から本格的にスキー競技に取り組み、スロープスタイル種目で国内外の大会に出場。2013年のワールドカップ最終戦では、日本人女子選手歴代最高位の4位入賞。また、世界最高峰の大会と称されるデューツアーに日本人女子選手として初めて出場する。スロープスタイルが初めて正式種目となった2014年ソチ冬季大会への出場を果たし、大会終了後に現役を引退。引退後はコーチ活動を行いながら、アジア出身者で初めてFIS公認審判A級ライセンスを取得。2022年北京冬季大会をはじめ、ワールドカップ大会等に於いて審判員を務める。現在は全日本スキー連盟フリースキーチームのヘッドコーチとして、選手強化及び育成に尽力。また、次世代アスリートの発掘や育成にも取り組んでいる。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2014年	ソチ冬季大会	スロープスタイル	22位
-------	--------	----------	-----

<国際大会>

2011年	オーストラリアン・ニュージーランドカップ	スロープスタイル	5位
2012年	サウスアメリカンカップ	スロープスタイル	4位
2013年	FISフリースタイルスキー 白馬大会	スロープスタイル	2位
2013年	ワールドカップスペイン・シエラネバダ大会	スロープスタイル	4位

スキー／フリースタイル(スロープスタイル)

1980年代から90年代にかけてニュースタイルカテゴリーとして生まれたフリースタイル競技。スロープスタイルは、800～1000m程度の斜面に連続的に設置されたジャンプ台やレール、ボックス等のジブアイテムを使用し、トリックを組み合わせて演技を行います。全体の印象、ジャンプの高さやトリックの難度、完成度等を総合的に評価して採点します。



オリンピック先生



めぐろ ひろなお

目黒 宏直 先生

【バイアスロン】



- 生年月日 1973年5月18日
- 出身地 新潟県北魚沼郡広神村(現：魚沼市)
- 出身校 広神村立広神中学校(現：魚沼市立広神中学校) - 中越高等学校 - 慶應義塾大学(通信教育課程在学中)

プロフィール

6歳からスキー競技を始め、10歳から本格的にクロスカントリースキー競技に取り組む。高校卒業後、陸上自衛隊冬季戦技教育隊(現自衛隊体育学校)に所属し、バイアスロン競技に転向。1998年長野冬季大会、2002年ソルトレークシティー冬季大会への2大会連続出場を果たす。2003年アジア冬季競技大会では、10kmスプリント、12.5kmパシュート、4×7.5kmリレー種目で3冠を達成。2005年アジアバイアスロン選手権大会で10kmスプリント、4×7.5kmリレーの2種目で優勝し、2006年に現役を引退。現在は自衛隊に勤務しながら、後進の指導にあたりと共に、スポーツイベント等に参加し競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

1998年	長野冬季大会	20km / 4×7.5kmリレー	出場
2002年	ソルトレークシティー冬季大会	20km / 4×7.5kmリレー	出場

<国際大会>

2003年	アジア冬季競技大会	10kmスプリント / 12.5kmパシュート / 4×7.5kmリレー	優勝
2005年	アジアバイアスロン選手権大会	10kmスプリント / 4×7.5kmリレー / 12.5kmパシュート	優勝 3位

バイアスロン

クロスカントリースキーとライフル射撃を組み合わせで行う競技です。ライフル銃を背負ってクロスカントリースキーで滑走し、途中で射撃をするという、スキー走力の速さと射撃の命中率の正確さを競います。スキー走で最大スピードを追及することで心拍数が極限に達した状態から、ライフルの動揺を抑えるためにいかに短時間に心拍数を下げ命中率を上げるかという、「動と静」の相反する競技性を同時に行うところが魅力。



2003年 アジア冬季競技大会

オリンピック先生



さ か い と も ゆ き

酒井 友之 先生

【サッカー】

- 生年月日 1979年6月29日
- 出身地 埼玉県三郷市
- 出身校 練馬区立光が丘第二中学校ー
東京都立豊島高等学校



プロフィール

小学校1年生からサッカー競技を始める。中学1年時からJリーグジュニアユースチームに所属、中学3年時、U-16日本代表に選出される。高校1年時にU-17世界選手権に出場し、高校3年時にはJリーグ初出場を果たす。卒業後はJリーグトップチームに所属し、2000年シドニー大会へ出場し、6位入賞に貢献する。その後、国内外の数多くのチームでプレーし、2013年に現役を引退。現在は所属チームのコーチを務めながら、スポーツイベントや講演会等に積極的に参加し、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2000年	シドニー大会	6位
-------	--------	----

<国際大会>

1994年	U-16アジアユース選手権	優勝
-------	---------------	----

1999年	FIFAワールドユース選手権	2位
-------	----------------	----

<国内大会>

2005年・2006年	天皇杯全日本サッカー選手権大会	優勝
-------------	-----------------	----

2006年	J1リーグ	優勝
-------	-------	----

サッカー

1チーム11人ずつで、ボールを相手ゴールに入れて点数を競う競技。ボール1つあればプレーできるため、ヨーロッパ、南米、アジア、アフリカ等大陸を問わず、世界中で広く楽しまれています。ゴールキーパー以外は手でボールを扱うことができないため、ボールを操る足技、相手ディフェンスをかわして相手ゴールへとボールを運ぶチームワーク、相手チームの攻めを防ぐ戦術等が見どころとなります。

